

【別紙】 採点基準

委員審査		提案内容が 5点:大変優れている 4点:優れており趣旨に添っている 3点:普通である 2点:部分的に見直しが必要 1点:全体的に見直しが必要 0点:提案なし
項目	基準	配点 5点×7人
	市民に事業概要をわかりやすく伝えることができる	35
子ども・若者の現状把握と支援の考え方		
	社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の現状と課題について	
①	国の動向を踏まえ、子ども・若者の現状と課題を十分理解している	35
	子ども・若者支援の理念や考え方が適切である	35
居場所・社会経験の場の提供		
	ふれあい・交流サロンの開設	
	実施方法が具体的で実効性がある	35
②	気軽に立ち寄れる工夫がある	35
	子ども・若者の主体性を伸ばせるような提案内容となっている	35
	生きづらさを抱える子ども・若者の居場所	
	実施方法・支援内容が具体的で実効性がある	35
③	利用への誘導に工夫がある	35
	子ども・若者の主体性を伸ばせるような提案内容となっている	35
	社会経験等の推進	
	実施方法が具体的で実効性がある	35
④	子ども・若者の主体性を伸ばせるような提案内容となっている	35
	地域と連携した文化・交流等ができるような提案内容となっている	35
	自学・自習の場の提供	
	実施方法が具体的で実効性がある	35
⑤	子ども・若者の学習意欲の向上・学習の習慣化を図るような提案内容となっている	35
相談・保護者支援		
	子ども・若者と保護者等の相談窓口の開設	
	実施方法が具体的で実効性がある	35
⑥	本人や保護者に対するプライバシーへの配慮が適切である	35
	保護者支援の実施	
	実施方法が具体的で実効性がある	35
⑦	保護者同士のつながりを深める提案内容となっている	35
関係機関との連携		
	子ども・若者支援団体との連携	
	実施方法が具体的で実効性がある	35
⑧		
	市・学校・地域との連携	
	連携体制や支援方法が具体的で実効性がある	35
⑨		
その他		
	職員等の人材育成	
	⑩ 実施方法が具体的で実効性がある(人権意識啓発を含む)	35
	例示ケースに対する本人や保護者に対する対応について	
	⑪ 実施方法が具体的で実効性がある	35
	独自の事業提案	
	⑫ 実施方法が具体的で実効性がある	35
	考え方に、積極性・独自性・発展性がある	35
事務局審査		配点
	業務実績調書	
	団体の業務実績は豊富か(同種業務ごとに3点、類似業務ごとに2点加点)	25
	業務実施体制	
	業務従事者の経験は豊富か(業務ごとに2点・経験年数3年以上でさらに2点、活動ごとに1点加点)	20
	人員体制は充実しているか (相談コーディネーター、支援員各1人追加ごとに3点、スタッフ1人追加ごとに2点加点)	10
	市内企業・NPO・市民団体育成	
	市内に事業所がある	5
	見積書	
	全候補者のうち、最低見積金額を提示した候補者を100点とする。 2位以下については、(参加業者中最低見積額/各社見積額)×100点(小数点以下切り捨て)	100
合計		1000